

## 政策 1. 輝く子どもたち（学校教育の充実）説明概要

### ■導 入

- ・松阪市教育委員会事務局の業務

多岐に渡る教育行政の中で、学校支援課においてタブレット端末や電子黒板等を活用した ICT 教育を推進している。

### ■なぜ必要なのか

- ・ICT 教育

今の子どもたちが生きる未来を想像してください。

子どもたちが生きる社会は、「成熟化社会」、「国際化社会」、「情報化社会」、とも言われており、これまでとは異なる能力が求められます。

このような社会を生き抜くためには、まさに今日、皆さんにも取り組んでいただきます「座学」「プレゼン」「グループ討議」等が必須のスキルとなります。こうしたスキル等を身に付けさせるために ICT 教育を実践しています。

そんな社会を生きる子どもたちには、「答えのない課題に最善解を導くことができる能力」「分野横断的な幅広い知識・俯瞰力」が求められます。

- ・次期学習指導要領

「どれだけ知っているか」という知識が求められていましたが、これからは「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が重要となってきます。

「どのように学ぶか」の観点において、ICT 機器が非常に有効なツールとなります。

### ■現 状

- ・3 中学校の説明

松阪市内では、三雲中学校、飯高中学校、殿町中学校の 3 中学校において、タブレット端末一人 1 台を活用した授業を実践しています。三雲中学校は、全国 8 中学校のうちの一つとして選ばれ、平成 23 年度から、総務省、文科省の事業の委託を受けてスタートしました。飯高中学校、殿町中学校は平成 26 年度から市の予算で事業をスタートしました。

- ・ICT 環境

3 中学校では、すべての教室に電子黒板や画像転送装置、教員と生徒に一人 1 台のタブレット端末を配備しています。これらの機器を活用して、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」を行っています。

- ・ICT の特性

1. 「拡大する」、2. 「撮る」、3. 「書く」、4. 「見る」、5. 「見せる」、6. 「送受信する」

こうした機能を使うことで、「人」「時間」「場所」をつなげることができると考えています。

但し、授業は、すべてタブレット端末で完結するわけではありません。当然、書く力も必要なので、このようにタブレット端末とノート等も併用して授業は行われています。

## ■課題

- ・効果と整備について

当然、費用が莫大にかかります。

学習効果や整備に係る予算等、答えのない課題ではありますが、お集まりの皆さまのお知恵を借りながら進めていけたらと思います。